



## クラブハウスモデルの発展へ向けた 研修体制構築への一歩

～クラブハウスモデル基礎的研修会の取り組みから～

日本精神障害者リハビリテーション学会  
第19回 京都大会  
2011年11月12日(土)  
セッション2 (ネットワーク)


We Are Not Alone !



## クラブハウスモデル

- クラブハウスモデル(以下、CHモデル)は、精神障がい者に対する生活支援、就労支援、相互支援等を**包括的に行うリハビリテーションモデル**の1つ。
- 1940年代、米国、NYで誕生。
- 現在、世界30ヶ国、300ヶ所以上で実践。
- 国内では1980年代に紹介され、1992年から様々な実践的な動きが始まる。
- 国内では5ヶ所(東京3、岐阜1、奈良1)のクラブハウスが活動。

We Are Not Alone !



## 近年の状況

---

- 障害者自立支援法における事業体系の中で、どのようにCHモデルを実践するか。

↓

- 5ヶ所のクラブハウスの連携・協力体制を整えることが困難。


↓

- CHモデルに関する情報発信、実践報告、講演会等ができない。

↓

- 既存クラブハウスの方向性の迷い。
- CHモデルに関する広報活動の停滞。
- CHモデルの認知や存在感の低下。

We Are Not Alone !




## 一歩前に進むために（2009年～）

---

- 障害者自立支援法の中で、CHモデルを実践する意味や必要性の議論。
- 国内の既存クラブハウス間の連携・協力体制の再構築（スカイプ会議、連合体設立）。
- CHモデルに興味や関心を持っている人やグループの情報収集。
- CHモデルの基本を学ぶ学習会や研修会の検討。

We Are Not Alone !




## CHモデルを普及・啓発するための 国際的な動き

---

- 世界各国でもCHモデルの普及方法が課題。  
↓
- クラブハウス国際開発センター (ICCD) が中心となり、クラブハウスを新たに立ち上げようとしているグループに対して、設立する際に必要な知識やノウハウ等を学ぶ**研修会**を実施。  
↓
- **New Clubhouse Development Training (NCDT)**。  
↓
- 国内でCHモデルを普及・啓発の手段として活用が可能。  
We Are Not Alone !

年	開催地域
2006年	ユタ州
2007年	カリフォルニア州 コネチカット州
2008年	フロリダ州 スウェーデン
2009年	インディアナ州
2010年	ミズーリ州 フランス
2011年	日本 (東京)



## アメリカ版NCDT視察

---

- 開催日：2010年10月21～22日
- 開催地：米国、ミズーリ州、セントルイス
- 目的：NCDTの実際の様子を見て、日本版NCDTの**具体的なイメージづくり**。
- 視察メンバー：メンバー1名、スタッフ1名

We Are Not Alone !

CLUBHOUSE  
Peer Station Yu

## アメリカ版NCDTの様子



研修マニュアル



↑  
参加グループ：3グループ  
(ミネソタ州、ユタ州、ペンシルベニア州)

We Are Not Alone !

CLUBHOUSE  
Peer Station Yu

## クラブハウス基礎的研修会 (日本版NCDT)

- 開催日：2011年1月24～25日
- 場 所：日本財団ビル 会議室
- 参加者：5グループ、5CH(32名)

(本研修会は日本財団の助成を受けて実施した)

グループ1 (20名)	グループ2 既存CH) (12名)
A (愛知県豊田市)	サンマリーナ (東京都板橋区)
B (神奈川県藤沢市)	クラブハウスはばたき (東京都小平市)
C (東京都練馬区)	ストライドクラブ (東京都渋谷区)
D (千葉県市川市)	ピアステーションゆう (奈良県奈良市)
E (千葉県柏市)	クラブハウスゆうせん (岐阜県各務原市)

We Are Not Alone !



## 日本版NCDT：目的

1. クラブハウスの設立を目指している施設やグループに対して、**CHモデルの基本的な内容や立ち上げる際の重要なポイント**を学んでもらう。
2. 今後のCHモデルの普及・啓発への第一歩とする。
3. 5ヶ所のクラブハウスのメンバー、スタッフのCHモデルに関する学習、これまでの実践の振り返りにつなげる。

We Are Not Alone !




## 日本版NCDT：講師

所属	備考
1. クラブハウス国際開発センター（米国）	オペレーティングチーフ
2. テファ・ファウンテンハウス（韓国）	メンバー1名、スタッフ1名
3. ピアステーションゆう	メンバー1名、スタッフ1名
4. クラブハウスはばたき	メンバー1名、スタッフ1名
5. クラブハウスゆうせん	法人理事長
6. 佛教大学	講師
7. オザキエンタープライズ	副社長



← クラブハウス国際開発センター（ICCD）  
Jack Yatsko 氏

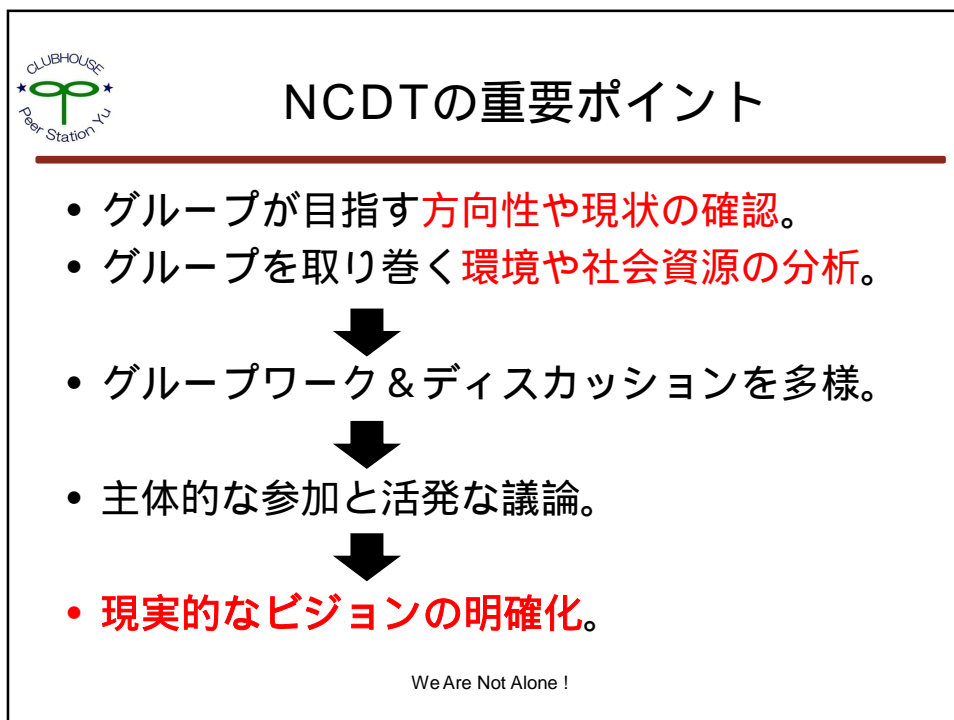
We Are Not Alone !



## 日本版NCDT：研修内容

1日目	2日目
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. メンバー体験談発表</li> <li>2. ビジョンの共有</li> <li>3. クラブハウスモデル概要説明</li> <li>4. 日本におけるクラブハウスの現状と動向</li> <li>5. ワーキンググループの意味と重要性</li> <li>6. 施設長、理事会の意味の役割</li> <li>7. ホームワーク</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. クラブハウスにおける雇用の意味と位置づけ</li> <li>2. 韓国におけるクラブハウスの動向</li> <li>3. 活動および運営資金</li> <li>4. クラブハウスと障害者自立支援法の関係性</li> <li>5. クラブハウスにおける3週間研修の意味と必要性</li> <li>6. アクションプランの作成</li> <li>7. メンバーの体験談発表</li> </ol>

We Are Not Alone !





## 具体的な取り組みを目指して

- 研修後、具体的な取り組みを行うために、  
「**アクションプラン**（行動計画）」を作成。



1. グループのビジョン
2. グループをサポートしてくれる個人リスト
3. グループをサポートしてくれる団体リスト
4. ケースステート作成
5. 資金的サポートの可能性がある団体、機関リスト
6. 過渡的雇用の受け入れ依頼ができそうな企業リスト
7. クラブハウスを活動する適切な場所
8. 戦略的な計画づくり分析（SWOT分析）
9. ワーキンググループミーティング計画
10. 次回のミーティングまでの達成課題

- グループへのフォローアップ（コーチング）  
担当者を配置。

We Are Not Alone !



## 研修受講者の評価

- アクションプランを通して、メンバーとスタッフが  
今後の**ビジョンを共有すること**の大切さを痛感した。
- クラブハウス立ち上げまでの**具体的なイメージ**を持つ  
ことができた。
- クラブハウスが**メンバーの回復**にとっても役に立つもの  
であるということがわかった。
- 頭で考えたことや想像したことを**行動に移す大切さ**  
を感じた。

We Are Not Alone !



## NCDTの効果・成果

1. アクションプラン作成を通して、グループ内の意識共有、今後の活動内容、方向性が明確となった。
2. クラブハウスを目指すグループと既存のクラブハウスとの関係が構築された。
3. 国内外におけるクラブハウスの現状把握とCHモデルの基本的な理解につながった。
4. 日本、韓国、米国との連携が強化された。
5. CHモデルを学ぶための研修機会の重要性が認識された。

We Are Not Alone !



## 今後へ向けて

- フォローアップ研修等を通しての関係維持。
  - CHモデルに興味や関心がある人やグループとの積極的な情報交換。
  - NCDTの定期的な開催。
  - CHモデルの有効性を示すための継続研究。
- ↓
- CHモデルの理念・視点を大切に丁寧な実践。
  - メンバーとスタッフの協働の継続。

We Are Not Alone !





ありがとうございました。

---

クラブハウスモデルは、  
とても魅力的なモデルです。

クラブハウスモデルに  
興味を持たれた方は  
ご連絡ください。

We Are Not Alone !